

令和5年度 2学期 学校評価のまとめ (R6.2)

松前町立北伊予中学校

【評価基準 A:すべて3.0以上、B:2.5以上がある、C:2.5以下がある】

(は、1学期末より0.2以上評価が上がっている。 は0.2以上下がっている。)

重点目標	評価結果						考察と課題、今後の方策
	中間値 2.5 最高値 4.0						
	よい・・・4点		ややよい・・・3点				
	ややよくない・・・2点		よくない・・・1点				
1 確かな学力の定着・向上 ・教育課程の円滑な実施 ・研修の充実 ・授業改善の推進 (よく考えよく表現する) ・個別指導の充実 ・学習習慣の確立	項目	教職	生徒	保護	地域	評価	○ 教育課程については、第5類への移行にともない、年度を通して行事とともに順調に実施できた。 ○ 教職員の研修も参集によるものが多くなり、積極的な参加ができています。学校の代表として、参加した研修内容を職員会等によって職員に周知し還元できるようにしていきたい。 ○ Self-Study-Note を日々行うことで、学習習慣が身に付いた。学力向上に向けて、今後も継続させたい。 ● 授業改善については、デジタルとアナログのベストミックスを目標に、ICT機器の活用が進められるよう教職員の研修等に日々努めていきたい。
	教育課程 教③	3.3				A	
	研修 教⑥⑦	3.0				A	
	授業改善 教⑧ 生①② 保⑪	3.1	3.5	2.6		B	
	個別指導 教⑨ 生③④ 保⑪	2.9	3.3	2.6		B	
	学習習慣 教⑩ 生⑤⑥ 保④	2.7	3.5	2.6		B	
2 豊かな心の育成 ・自主性を育む生徒会活動 ・感動のある行事 ・道徳の時間の充実 ・学級の時間の充実 ・人権・同和教育の充実		教職	生徒	保護	地域	評価	○ 生徒会活動について、制限がほぼなくなった中での活動であったが、準備不足の点があったように思う。計画的に実施できるよう、余裕を持った準備によって実践していきたい。 ○ 学級活動については、他の学校行事への取組の事前指導、事後指導ともタイアップさせ、より充実させていきたい。 ○ 道徳教育については、年間35時間の確保を第一に考えていきたい。人権・同和教育については、全体計画・年間指導計画の見直しを全教職員で行った。これを元に、来年度は系統的な学習になるようにしていきたい。
	生徒会活動 教⑪ 生⑦	2.8	3.6			B	
	学校行事 教⑫ 生⑧ 保⑫	3.5	3.8	3.0		A	
	道徳教育 教⑬ 生⑨ 保③ 地②	3.2	3.5	2.9	3.7	B	
	学級活動 教⑭ 生⑩⑪⑫	3.3	3.5			A	
	人権同和教育 教⑮ 生⑭⑮	3.5	3.4			A	
3 生徒指導の充実 (健やかな体) ・生徒理解 ・保護者との信頼関係 ・いじめ・不登校の解消 ・清掃指導 ・あいさつ励行 ・交通安全指導 ・生活習慣 ・望ましい生活習慣		教職	生徒	保護	地域	評価	○ 清掃指導については、週2日削減されたことが徐々に習慣づいてきた。日々の生活の中で、環境美化の視点も大切に考える生徒も増えてきたように思われる。 ○ 交通安全については、命の大切さを前提として指導をしていきたい。教職員としては、24時間教育公務員としての自覚を持ち、法令遵守をしていきたい。 ● あいさつの励行の点では、数値ほど高いとは感じない。学校だけでなく、登下校中や家庭内でもできることが大切と考える。
	生徒理解 教⑯ 生⑯	3.5	3.0			A	
	保護者信頼 教⑰ 保⑧⑨	3.3		2.8		B	
	いじめ・不登校 教⑱ 保①	3.3		2.9		B	
	清掃指導 教⑲ 生⑰	3.3	3.8			A	
	あいさつ 教⑳ 生⑱ 保⑦ 地④	3.4	3.5	2.8	3.5	B	
	交通安全 教㉑ 生⑲ 保② 地①	2.9	3.8	3.0	3.6	B	
	生活習慣 生⑳ 保⑤⑮		3.4	2.8		A	
	部活動 教㉒ 生㉑ 保⑬ 地⑧	2.9	3.8	2.9	3.8	B	

重点目標	評価結果 中間値 2.5 最高値 4.0						考察と課題、今後の方策
	よい・・・4点 ややよくない・・・2点		ややよい・・・3点 よくない・・・1点				
4 教育目標 ・信頼される学校づくり ・家庭・地域との連携 ・教育目標 ・家庭地域との連携と信頼 ・P T A活動との連携 ・情報発信、受信 ・地域活動への参加 ・学校評価	項目	教職	生徒	保護	地域	評価	○ 積極的なメールの活用、ホームページの更新を行って、丁寧な情報提供をしていきたい。 ○ 地方祭や地区の文化祭など、生徒の参加がコロナ禍以前に戻りつつあるため、評価も上がったと思われる。地域の行事に参加しやすい環境づくりをしていきたい。 ● 家庭、地域に信頼される学校であるよう、アンケート結果を謙虚に受けとめて取り組んでいきたい。
	目標 教①②	3.1				A	
	連携信頼教④⑤保⑧⑨地⑤⑥	2.9		2.8	3.7	B	
	P T A活動 教⑳	3.2				A	
	情報発受信 教㉔ 保⑩地⑦	3.1		2.8	3.8	B	
地域活動 教㉕生㉖保㉗地④	3.4			3.5	A		
5 服务等 ・明るい職場 ・資質の向上 ・報・連・相、協働態勢 ・教育公務員の自覚		教職	生徒	保護	地域	評定	○ 服務については、24時間教育公務員として、自身を第三者の目で見ることをしていきたい。 ○ 行事後の劳いの言葉、協力体制を大切にしていきたい。 ● 明るい職場が明るい学校につながるので、働きやすい環境づくりを意識して実践していきたい。
	明るい職場 教㉔	2.9				B	
	資質向上 教㉕	3.2				A	
	協働態勢 教㉖	3.2				A	
	公務員自覚 教㉗	3.2				A	
6 管理等 ・施設設備の安全管理充実 ・文書処理 ・情報管理 ・会計管理 ・校務分掌の適正化		教職	生徒	保護	地域	評定	● 出退勤の記録については、サービスの根本といっても過言ではない。毎日記録するよう心掛けたい。 ● 校務分掌については、年度当初に審議して体制を整えてきた。分掌によって軽重があるなら、周囲のカバーが必要である。協力体制を取ることが大切となってくる。 ● 文書の提出については、「間に合えばいい」の考えではなく、訂正できる時間のある余裕ある提出を心掛けたい。
	施設設備 教㉘㉙㉚	3.0				A	
	文書管理 教㉛	3.0				A	
	情報管理 教㉜	3.4				A	
	会計管理 教㉝	3.4				A	
	校務分掌 教㉞	2.8				B	
全体のまとめ	○ 「心豊かで、活力に満ちた実践力のある生徒の育成」の教育目標の実現に向け、校長のリーダーシップのもと日々実践をしている。All for one. One for allの思いで、全教職員の共通理解のもと、生徒の安全・安心、学力の向上など、一つ一つの課題の解決に努め、よりよい学校づくりに向けて取り組んでいきたい。アンケートの結果を真摯に受けとめ、生徒のために教職員と家庭、地域が一丸となって取り組めるよう努力をしていきたいと思っております。今後ともお力添えをお願いします。						